

【女子チームに栄冠!! 14年ぶりの優勝🏆】

9/26、9/27の両日、千葉市YohaSアリーナにて県民スポーツ大会（略して「県民大会」）が開催されました。今年も、市川市からは男女各代表チームが参加しました。結果は、既に県協会ホームページにアップされていますが、女子チームが平成24年度以来、14年ぶりの優勝を果たしました!!（男子チームは、ベスト16でした。）

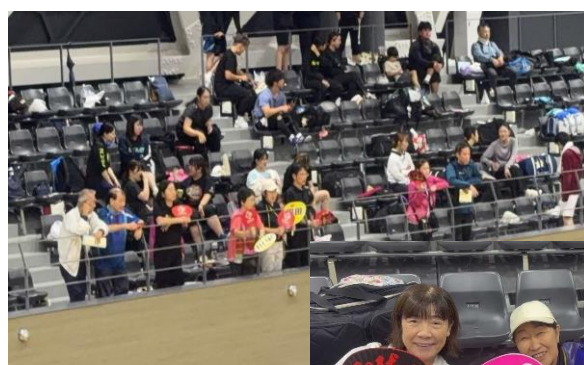
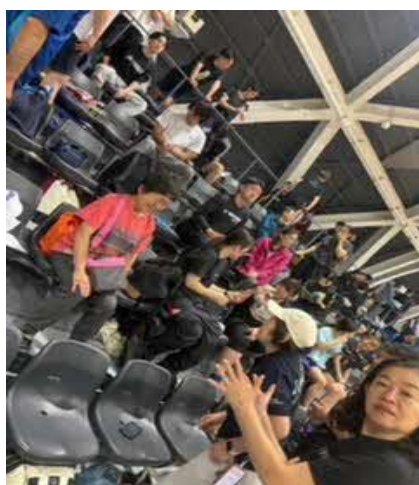
優勝という栄誉は、選手の頑張りは勿論ですが、応援団を含め、周りの方々の力添えがあつての結果である、改めて感じています...本当に有難うございました🌸

このN通信では、当日のNチームの奮闘や、応援団を含めた周りの方々の活躍も踏まえつつ、お伝えできればと思いますー（写真が一部遠景ですが、ご容赦ください。）

初日は男女ともベスト8決めまで行います。昨年度の市川市チームの成績は、男子がベスト16、女子がベスト8。まずは初日を勝って、翌日の準々決勝へ進むことが大切です。



〔千葉市YohaSアリーナは、新しくて綺麗な体育館です♪〕



〔天候不順にも関わらず、理事を始め応援団も徐々に駆けつけています!〕



〔特製の“応援うちわ”で準備万端(^_^♪)〕

この県民大会は、2複（D）1単（S）形式の男女別団体戦であり、1発勝負のトーナメント戦です。ヒリヒリとした緊張感や、団体戦ならではの応援の盛り上がりが特徴であるとともに、例年、奇跡的なゲーム展開も見受けられます。

（まさか市川市チームが、そんな試合をするとは...詳細は後ほど。）

また、昨年度の県民大会との大きな違いは、15点制が先んじて導入されたことが挙げられます。各市、どのように対応するか、この点も興味深いところです。スピーディーな試合展開が予想されるため、ペース配分や集中力の維持も重要です。

男子

男子チームは、昨年度、ベスト16止まりであったため、今年は1回戦からの出場。対戦相手は、「成田市」です。

【対成田市（1回戦）】

1Dは、平田・八巻組。2人ともBC千葉に所属しており、気心知れたペアです。県民大会等の大きな試合の経験も十分。終始、試合の主導権を握ることができた市川市ペア。攻守ともに安定しており、2-0で快勝でした。



〔幸先よく、平田・八巻組、勝利!!〕

続くSは、石黒選手。昨年度の県民大会でもシングルスで出場。昨年は残念ながら敗退しましたが、経験値を積んできていることもあり、落ち着いた試合運びと安定した球回しで、2-0で勝利。

この時点で、2回戦進出を決めました。



Win ♪



〔快勝♪北村・松崎組〕

初日は2Dも行います。2Dには、北村・松崎組が登場。同級生ペアで様々な大会に出場歴多数ですが、県民大会でのペア出場としてはデビュー戦。ただ、大舞台には慣れていますので、会場の独特の雰囲気にも負けず、しっかり勝ち切ってくれました。

男子の1回戦は3-0。次の2回戦、印旛郡市戦へ駒を進めることが出来ました。

【対印旛郡市（2回戦）】

2回戦の対戦相手は、「印旛郡市」。レベルの高い選手を多数揃えるチームです。準々決勝進出をかけ、初日の大一番となりました。



〔整列。これより試合開始☆〕

オーダーは、1Dに八巻・折原組、Sに鍋島、2Dに北村・平田組。ダブルスでの勝負を挑む市川市としては、まずは1Dでの勝利を目指します。

対する印旛郡市は、若手とシニアによる強者ペア。特に、全日本シニアでの優勝経験を有するシニア選手の高いレベルでの試合展開力により、試合の序盤から、一進一退の質の高い試合が繰り広げられました。

結果は、配球と低い展開でのリズムで印旛郡市ペアが上回り、競いつつも残念ながら1-2で敗退。

続くSは、鍋島選手の登場。シングルスでの起用を見据え、N練習でも追い込んできました。試合では、相手選手のスマッシュとドロップが随所に決まり、リードを許す展開に。必死に食らいつき、お互いに1点ずつの取り合いとなった結果、終盤に追い上げるも、惜しくも0-2での敗退。



〔奮闘!!〕

〔Fight!! 鍋島選手〕



これでチームとしては、0-2で敗退が決定。初日は2Dも行うため、その後、北村・平田組が一矢報いるも、チームとして1-2で敗退となりました。男子チームは、昨年に引き続き、惜しくもベスト16で終了しました。

女子

女子チームは2回戦からの登場。初日の対戦相手は、男子同様「印旛都市」でした。
【対印旛都市（2回戦）】



〔女子もいよいよ試合開始です!!〕

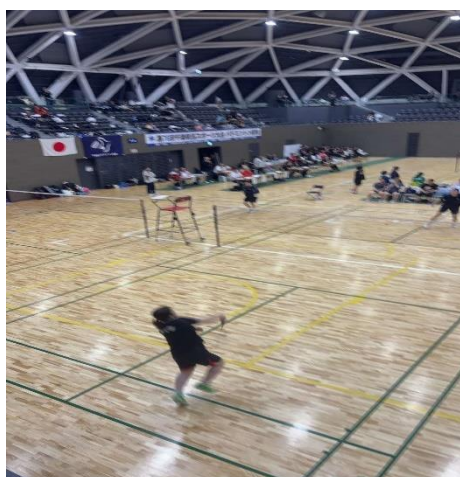
女子チームも初日に勝って、まずは翌日の準々決勝進出を目指したいところ。

そこで、1Dには、大澤・美濃組を起用。共に市川ジュニア出身。「生え抜き」だけに息もピッタリです。2人とも大学での部活を始め、しっかりと練習を重ねており、攻守ともに非常にレベルの高いプレーが光ります。安心して見ていられる2人のプレーにより、終始リードし続ける試合運びで、2-0で快勝でした。



〔2-0で快勝。コンビネーションもばっちり♪次に繋がります。〕

続くSは、波多野選手。シングルスもダブルスも真摯に取り組む、真面目な性格に



より、着実に成長を重ねています。

1ゲームは順調に取りましたが、2ゲーム目を取られ、ファイナルへ。ペースを掴んだ相手の動きに波多野選手も必死に食い下がります。

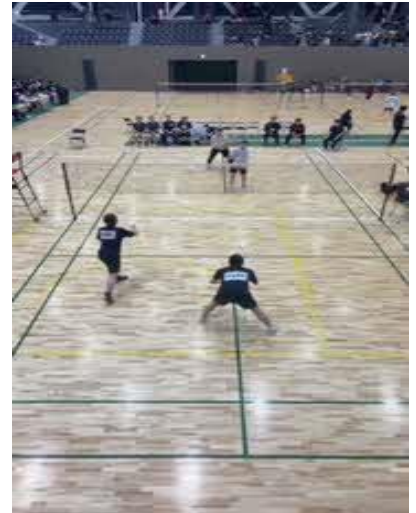
残念ながらファイナルで負けはしましたが、最後まで粘り強く戦う姿勢は、2Dへ繋げる効果十分でした。

2Dには、長野・山田組をオーダー。キャプテンの長野選手と山田選手。普段組む機会はありませんが、実力十分の2人だけに、急造ペアでも安定感は抜群です。

要所要所に見せる長野選手のキレの良いショットと、山田選手の巧みなレシーブが光り、2-0のストレートで快勝!! チームも2-1で勝ち、順調に翌日の準々決勝へと駒を進めました。

（残念ながら、山田選手は仕事の都合により、本日のみの出場...）

〔快勝!! 長野・山田組〕



【対松戸市（準々決勝）】

翌日の準々決勝、対するは松戸市。メンバーは、今大会の参加チーム随一と言っても過言ではなく、とても強敵です。そして、市川市は大きな戦力の山田選手を欠く、非常に厳しい状況ですが、この対戦から快進撃が始まります!!

オーダーは、1Dに菊池・波多野組、Sに大澤、2Dに長野・美濃組です。対する松戸市の1Dは、元S Jリーガー擁する強豪ペア。

初戦から大熱戦です。菊池・波多野組も相手の球を必死にレシーブしますが、やはり球の「質」が段違いに異なり、終始押し切られる展開が続き、0-2で敗退しました。

そしてSへと舞台は移り、大澤選手の登場。

松戸市の選手もシングルス強者につき、一進一退のシーソーゲームとなるラリーが続きます。



1-1で決着がつかず、ファイナルの

緊迫した展開になりますが、ここで大澤

選手の軽やかなフットワークとともに、苦しい場面でも笑顔溢れるプレーがさらに光を増し、2-1で勝利!!

負ければチームが敗退となる後が無い状況でも、大澤選手のラリー力が勝利を手繰り寄せました。さすが生粋のシングルプレイヤー、まさに“あっぱれ”です!!



そして、決戦の舞台は2Dへと引き継がれました。松戸市の2Dも、1Dに負けず劣らず強豪ペア。お一人は“ゆーこりん”と呼ばれ久しい、攻守に非常にレベルの高いペアが登場します。

市川市の2Dである長野・美濃組も、若さ溢れるプレー全開で対応。特に、長野選手の素早い前衛と、美濃選手の“お父さんゆずり”の攻撃力が随所に光ります。

長野・美濃組の攻撃が決まる一方で、相手から強烈なカウンターや的確なレシーブも決められる、まさに一進一退の攻防が続きます。序盤から凡ミスが全く無い、非常に高いレベルのプレーが展開されるとともに、勝った方が準決勝に進めるということ

で、応援団の声援にも一段と熱が入り、手に汗握る試合展開となりました。

そして。。。今大会のベストバウトと言える、見せ場が訪れますー。今対戦、シングルス同様、ストレートでは決着がつかず、ファイナル勝負に持ち越されます。

その後、シーソーゲームとなる展開の末、10-14 でマッチポイントを握られます。まさに、絶体絶命のピンチ★1点でも失えば、その時点で負けとなり、自動的にチームも敗退となります...

ここで、勝負強い長野選手の研ぎ澄まされた集中力、美濃選手のカバー力と攻撃力が、1点のミスも無い試合運びを現実のものとし、なんと6点連続のポイントゲット。16-14 でファイナルゲームを勝ち切り、見事チームの勝利を引き寄せました!!

これこそ、奇跡の勝利と言えるでしょう。一生懸命頑張っていれば、バドミントンの神様も、時にこんなスペシャルなご褒美をくれるんですね♡

まさに、“スペシャルあっぱれ” 🌸これで、準決勝の切符を手に入れました。

【対市原市（準決勝）】

続いての準決勝、対するは市原市。昨年度、惜敗を喫した相手です。メンバーは、やはり準決勝に進出するだけあり、非常にレベルの高い選手が揃うチームです。

市川市は、準々決勝に引き続き、1Dに菊池・波多野組、Sに大澤、2Dに長野・美濃組のオーダーで挑みます。対する市原市の1Dは、東京情報大OG擁する攻撃力に優れたペア。お互いに、スマッシュを中心とした攻撃的なラリーが展開されますが、市原市ペアの攻撃力に押され、残念ながら0-2で敗退となります。

続くS。準々決勝の激戦を終えたばかりの大澤選手ですが、スタミナには問題なく、試合を重ねるごとにプレーのクオリティも高まり、安心して見ていられる展開が繰り広げられます。ラリーは続くものの、終始、主導権を握った試合運びを実現することができ、2-0のストレートで勝利。これでチームとしては1-1のタイになり、勝負は2Dへと引き継がれます。

2Dの相手は、過去に日本代表にもなった選手を要する強敵。さすがに市原市チームの層の厚さを感じさせます。戦前は苦戦を予想しましたが、Sの大澤選手同様、急造ペアの長野・美濃組が、試合を重ねるごとにコンビネーションが冴え、長野選手のタッチの速さ、美濃選手のレシーブの安定感が増していきます。

ここぞという場面でのラッシュも冴え、結果、2-0のストレート勝利。14年ぶりの戴冠に向け、久しぶりの決勝戦進出を決めました！

【対千葉市（決勝）】

決勝戦は、やはりというか、毎年、上位常連の千葉市チーム。メンバーに元S Jリーガーも顔を揃える、強敵中の強敵です。優勝を決める最終戦として、舞台は整いましたー。

市川市は、勢いそのままに鉄板の1Dに菊池・波多野組、Sに大澤、2Dに長野・美濃組のオーダー（やはり、Sに安定感のある選手がいて、オーダーに変化が加えられるので、非常に優位です）。

まずは、1D。S勝負を避けたいと予想する千葉市チームからは、元S Jリーガー



の選手を含む、非常にレベルの高いペアの出場。市川市としては、前衛で菊池選手がタッチし、後衛の波多野選手による攻撃力の有るスマッシュに繋げていきたいところ。

が、やはり一歩も二歩もレベルが上の千葉市ペアに試合の主導権を握られ、残念ながら0-2のストレートで敗退。しかしながら、最後まで諦めずにシャトルを追い続けた姿勢は素晴らしいものがありました。その“気持ち”をSに繋げます。

Sは勢いの増す大澤選手。1Gこそ競る展開となりましたが、2Gは軽快なフットワークと、フォアとラウンド、双方からのストレートスマッシュが的確に決まり、2-0のストレート勝利を収めます。



そして、勝敗は、またもや2Dに。市川市、千葉市ともに、優勝をかけた負けられない一戦を迎えました。



がっぷり組んでの対戦、非常に見応えのある試合となりました。長野・美濃組は冴えわたるコンビネーションを武器に試合を進めますが、千葉市ペアもサーブ周りの巧みな処理や、安定感のあるレシーブで対抗します。

点差が開かず、本日ラストの手に汗握る展開が最初から最後まで続きますが、集中力を切らさず、最後まで攻め続けた市川市ペアが僅差でのストレート勝利を収め、14年ぶりの優勝🏆を決めました～🌸🌺🌻

選手諸君、そして応援に駆けつけてくださった皆さま、おめでとうございます!!



〔優勝の瞬間!!〕



最終結果は、男子がベスト16、女子は14年ぶりの優勝でした。なお、男子の優勝は千葉市でした。

また、前回の成績と比較し、男子は維持と、やや残念な結果に終わりました。やはり、ベスト8の壁は高く、特に団体戦では、Sに強い選手がいる場合、オーダーに余裕が出るので、その点の優位さを感じました。

一方で、強いチームは、攻撃力は勿論のこと、非常にレシーブが堅いこと、また、巧みな配球も印象的でした。15点制に切り替わるにより、序盤から集中力を切らすことの出来ない緊張感のある試合展開となりますが、そういった中でも勝ち切る力を持つことが必要だとも感じました。

なお、今年度も、協会の千葉理事の旗の下、応援団を結成していただき、天候不順にも関わらず、2日間、多くの方に応援していただきました。声援は、選手には大きな力となりました。本当に有難うございました。

特に、ピンチになった時、応援の一押しが非常に効いたと感じています。女子チームが優勝出来たのも、応援団の声援が“力”になったことは間違いありません。応援の盛り上がっている風景が、今後も市川市の『伝統』として定着していけばいいなと、改めて感じた次第です。

令和8年度は、市川市バドミントン協会創立 60 周年の記念の年として、三大大会（県民大会、市川 Special 大会、郡市リーグ大会）の優勝を掲げています。有言実行として、まずは県民大会の優勝を実現することが出来ました。

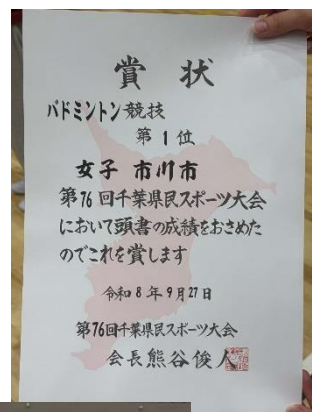
今後も、12月に松戸市で開催される「アザレア杯（ミックス団体戦）」を始め、令和9年に予定される「市川 Special 大会」「郡市リーグ大会」で良い成績が残せるよう、チーム一丸となって頑張っていきます。

特に、「市川 Special 大会」は、市川市協会主催により塩浜体育館にて開催されますが、県内各市等の代表チームが集い、さながら「ミニ県民大会」のレベルでの試合が繰り広げられます。地元・市川市で県トップレベルの試合を観ることが出来ますので、市川市チームの応援がてら、ぜひ観戦にお越しください!!

ー今後とも引き続き、ご声援の程、宜しくお願いいたしますー



〔閉会式後、優勝の栄誉を称え♪〕





〔選手、応援団揃っての記念撮影📷連覇を目指します!!〕

※長文につき、有難うございました。

〔文責：強化担当理事 杉町〕